

人権啓発課しっかり役割発揮を

日本共産党は、これまでも一貫して不公正な同和行政を改めるよう求めてきました。3月市議会でもがんばりました。

障がい者への差別なくすために

猿渡（えんど）久子市議は、「障がい者の差別をなくす別府市条例の制定に向け取り組みが進んでいるが、人権同和教育啓発課として、どのように役割を果たすのか」と質問。

課長は、「市民やPTA会員・企業・団体・市職員への研修などで、障害のある人と人権について、教育・啓発をすすめていきたい。障害福祉課との連携を図り、人権課題の解消をリードしていくように取り組んでいきたい」と答弁しました。

いじめや虐待への対応を

「いじめなどが起きた場合の対応について、担当課と連携して人権同和教育啓発課としても取り組むべきでは」と、えんど市議。

参事より「いじめが起こった時、人権啓発課が直接事案にかかわり解決することはしていない。未然に防ぐための人権教育を連携して行っている。今後、いじめの事例に応じては、関係課と連携し解決に向け努力していきたい」と答弁。



障害のある人もない人も安心して安全に暮らせる
別府市条例の制定について

別府市議会全員協議会配布資料

— 平成25年4月23日(火) 午後1時30分 —

障害のある人もない人も安心して安全に暮らせる別府市条例の制定について、4月23日議会の全員協議会で説明した際の配布資料。

さまざまな人権問題の解決に

えんど久子市議は、「人権啓発課は、同和差別ばかりでなく、様々な人権問題や差別をなくすための取り組み・啓発が仕事。児童虐待や高齢者への虐待などについても、人権啓発課が、担当課と一緒に頑張って解決に努力してもらいたい」と求めました。

別府市議会のHPで議会の録画や過去の議事録を見ることができます。ご覧ください。

日本共産党 別府市議団
げんきニュース

発行責任者 平野文活
別府市石垣西8-2-31
TEL0977-22-6576

No.552
2013. 4. 24.

毎年260万円以上を2団体に

同和団体への補助金はやめよ

差別なくそうと言いながら

今年は、部落解放同盟と全日本同和会にそれぞれ263万4000円の補助金を出します。2団体の合計金額は県下で最も多額です。

えんど久子市議など日本共産党は、「別府は同和指定地区がなかった地域で、同和団体への補助

金は廃止すべき。子ども会連合会18万円、PTA連合会36万円などの他団体への補助金と比べて多すぎる。不公平だ。差別をなくそうと啓発している部署であり、公正にすべき」と、くり返し求めてきました。

支部主催の活動ないのに

至れり尽くせり

3月市議会でえんど久子市議は、「団体の事業報告書を見ると、2団体とも別府支部主催の活動が全くなく、研修や会議ばかり。解放同盟の事務所は、市の施設である人権啓発センターの中にある、事務所経費の負担が

いらぬ。そういう状況を見ても、補助金はなくすべき。職員の旅費も他の部署に比べ多すぎる。雑誌購入費の公費購入4冊54万円もやめるよう求めてきたが、なくすべき」と厳しく指摘し、求めました。

共産党以外はもの言えず



ハナネコノメソウ

日本共産党市議団のHPや、えんど久子のHP「はっぴーえんどどとねっと」をぜひご覧下さい。

生活環境部長は「補助金は毎年1%ずつカットしているが、今後協議する。事務所経費など、精査すべき点は精査しながら、しっかり取り組んでいくので、ご理解いただきたい」などと答えました。

えんど市議は「理解できない。くり返し求めてきたが、改善されていません。この問題で公正に求められているのは、日本共産党だけです。今後とも公正な行政を求めてがんばります。」

いから言っている。すぐに補助金を廃止すべき」と重ねて求めました。

団体と協議すると言いますが、他の団体の補助金は市の方針で減らしてきたのです。